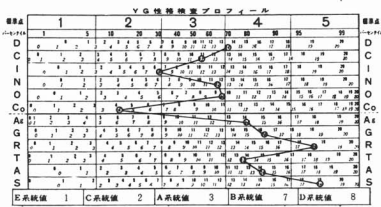


揮される傾向が強く、自信家である。



問題性予測検査 (DAT)

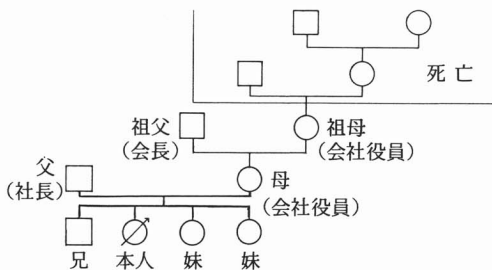
検査尺度	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
危険性の段階	C (危険性小)					B (危険性中)		A (危険性大)				
パーセンタイル	1	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95	
F. 家庭不満足	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
S. 学校不満足	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
E. 自己不満足	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
H. 対人不満足	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
P1. 性格1 (意志的)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
P2. 性格2 (感情的)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
P3. 性格3 (思考的)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
N. 規範逸脱性	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
問題傾向	男	20	30	40	50	60	70	80	90	98	110	130
ASS 反社会的傾向	女	20	30	40	50	60	70	80	90	94	110	130
問題傾向	ASS得点 ( 70 ) タイプ ( PN )											

家庭、学校、自己、対人関係などの適応傾向はよいが、性格傾向では、意志が弱く自己顕示的であきっぱく軽率である点が目立つ。

また規範逸脱性が高く、行動的には規範破りが多いことが予測される。

② 家族構成と家族関係

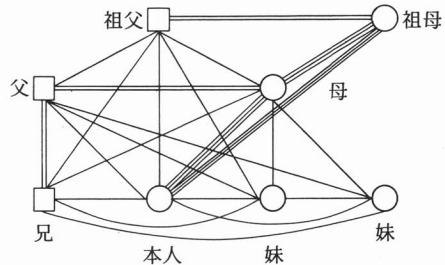
- 家族構成から見ると代々女性が家を相続している傾向があり、A子は兄がいるにもかかわらず当然のことのように相続人ともくされ、特別な位置が与えられていたようで、A子自身も能力に恵まれ、それにこたえて育ったようである。



祖父、父、兄は、それぞれみかけ上は、会長、社長、長男であるが、家庭内の地位は低いようである。

祖母、母、A子は、会社役員二人と長女ではあるが、実際上は、この家系をつぐ直系とみられており、特にA子は兄妹の中で、身体的にも知的にも恵まれており、そのようなことから期待が集まりやすい状況にある。それはA子の描いた次の家族のシステム・力動にもみとめられる。

● 家族関係のシステム・力動



A子は、祖母、母から強く支持されており、クイーン的位置が与えられていることがわかる。

(2) B子について

同胞3人第2子二女として出生、父母は共働きであり、姉とは年齢の差も大きく(7年)一人っ子的であり、特に姉が問題行動を起こすようになってからは、父母はB子に大きな期待をよせるようになった。

① 本人

- 身体的発育については、特に問題はなく、現在身長153cm、体重54kgとやや小太りな感じである。
- 心理的には、わがままな性格で、依存性が強くややさびしがりやなところがある。また少し太り気味なところを気にし、そのためか気分がむらがある。
- 心理テストは、Y G 性格検査と問題性予測検査 (DAT) を実施した。

— Y G 性格検査 —

D型であり、情緒安定、社会適応、積極型であるが、D型にしては気分変化が大きすぎることに